

二品蘭溪 號 戲作者。安政四年一月一日江戸生れ、昭和十一年十
二月二十六日歿（八五—一九三）。本名長二郎。筆名二品華彦、二品馨
園、柳條亭華彦、橋屋蝶之助、橋蝶、芳馨舎、華彦、蘭溪、馨園、馨
園主人等。工部大學校中退。明治八年工部省入省也、病を獲て十二年
退職。前田香雪を知り、高田嘉永公節事。十五年「東京繪入新聞」入
社。二十一年「東京改進黨新聞」記者を経て、二十九年「東京朝日新聞」入
社。

著書「高田紀聞松の雪折」(内題「高田紀聞松の雪折れ」芳馨舎蘭溪名、

明治十六年一月四日番・清寶堂)、「高田紀聞松の雪折れ」「數島
文庫博の橋」(柳條亭華彦名、

明治十六年十一月愛善社)、「社繪
風潮浮沈」(二品華彦名、明治二十一

年十一月十六日鶴聲社)、「砂中の珊瑚」(同、明治二十一年十一月

六日鶴聲社)、「緋櫻」全二冊(第一回—第二回。明治二十五年二月

十八日「改進黨新聞」第一千七百二十八號附録、第四回—第七回大尾。

四月十九日同。第一千七百五十五號附録)、「冬牡丹」(明治二十六

年二月二十八日礪川出版會社)、「緋櫻」(起泉子著「島田一郎梅雨

日記」明治二十六年四月二十一日塚英
堂大川屋書店・附載)等。